

CONTENTS

- 2 遊んで学ぶ自然教室 親子エコくらぶ 「草木染めをしよう」
- 4 県政フラッシュ
- 特集1
- 6 平成22年度当初予算のあらまし
- 特集2
- 8 働く夢、広げよう！ 働きたい職場で働ける沖縄県をめざして
- 特集3
- 10 子どもと女性を性犯罪等の被害から守るために
- 12 守りたい自然 ～おきなわの彩鳥(いろどり)～ ノグチゲラ
- 14 仕事の現場ウォッチング 旅行業界のシゴト
- 16 県のうごき1 おきなわ県政出前講座
- 17 県のうごき2 新規就農者等の支援事業
- 18 情報ひろば お知らせ
- 20 輝け！わたしたち島の未来「沖縄元気プロジェクト」 国頭村

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」について

*

沖縄県広報誌「美ら島沖縄」は、県の施策や情報をわかりやすく県民のみなさまにお伝えする冊子です。公共機関や学校、銀行、病院など多くの方が利用する施設でご覧になることができるほか、沖縄ファミリーマートの店舗で無料配布しています。

本号とバックナンバーは県広報課 ホームページでご覧になれます。

沖縄県知事公室広報課

TEL.098-866-2020

http://www.pref.okinawa.jp/churahome/



4月のテーマ★「草木染めをしよう」



身近にある地元の素材を使って 昔ながらの遊びに挑戦する「うちななく流エゴ」。 お日様や風を感じて、親子で一緒に遊びながら 沖縄の豊かな自然を再発見してみよう！

監修/NPO法人沖縄ホールアース研究所

草木染めの 準備をしよう

草木染めにチャレンジするのは、安達進吾くん(小三)、安達夏那ちゃん(四歳親子。草木染めは椿や桜、杉などいろいろな植物で染めることができますが、今回はサトウキビで染めてみます。



本当にサトウキビで染まるのか、不思議だね

まずはサトウキビ畑に行き、葉や花(穂)を切って材料を準備します。まるで



染まるのを待っている間、切り出した甘いサトウキビをチューチュー

に小さな模様をたくさん作ったお母さんは「ぶどう」と答えました。「思ったよりきれいにできてよかったです。タペストリーにして部屋に飾ろうかな」と、笑顔で話す安達さん親子。

草木染めのつくりかた

◇用意するもの◇

鍋、ザル、 Tong、軍手、サトウキビの葉、ひしゃく、媒染液(灰汁)、手ぬぐい、輪ゴム



1 サトウキビの葉や花を切り、20分煮て、ザルでこす。同じ葉をもう一度別の水に入れ、20分煮る。最初の液と混ぜ合わせて、染め液の完成。



2 輪ゴムで絞りを入れた手ぬぐいを、染め液に入れて、20分煮染め。火を止めて10分冷ます。



3 手ぬぐいを媒染液(灰汁)に20分漬ける。もう一度20分煮染めをし、10分冷ます。



4 水洗いして輪ゴムをはずし、陰干して完成！



僕が、私が デザインした草木染めが完成！

ススキのような形をしている花に、「これが花？」と不思議そうな表情の三人。染める布の重さ×五〜十倍の葉を、水に入れて、二十分煮ます。

煮ている間、輪ゴムを使って、手ぬぐいになる絞りを入れます。「こっちは二つ丸を作って、目にしたい」と夏那ちゃん。お母さんと二人で試行錯誤しながら絞り入れの作業を頑張っています。進吾くんは一人で黙々と作業中。頭に浮かんだデザインを形にしようと一生懸命です。

いよいよ サトウキビで染めるよ

染め液ができたなら、手ぬぐいを入れてさらに二十分煮染めします。沸騰しないように気をつけながら、ムラにならないよう、時々手ぬぐいを動かします。そのまま、火を止めて十分冷まします。次に手ぬぐいを媒染液に二十分漬け、さらにもう一度、二十分煮染めした後、十分冷まします。家庭では媒染液としてミョウバンを使ってもいいですが、今回は体にも環境にもやさしい灰汁を使います。

染まった手ぬぐいを取り出して水洗いし、軽く絞ったら輪ゴムをはずします。模様がちやんと染まっているかドキドキ！全部はすして手ぬぐいを広げてみると、模様もきれいにできています。先生にデザインテーマを聞かれ、「肉」「煙」と答えた進吾くんも夏那ちゃん。端

今月の先生



エコインストラクター
加藤 恭子さん

「ホールアース自然学校」主催の四季講座に参加して環境教育に関心を持ち、エコインストラクターをめざす。小・中学生が自然体験できる「あしび隊」で、親子で楽しめるプログラムを企画・運営。

TEL: 0980-58-1852 (がじゅまる自然学校)
URL: http://www.wens.gr.jp/gajumaru



どんな風に染まるのかな。ワクワク！

平成二十二年度 当初予算のあらまし

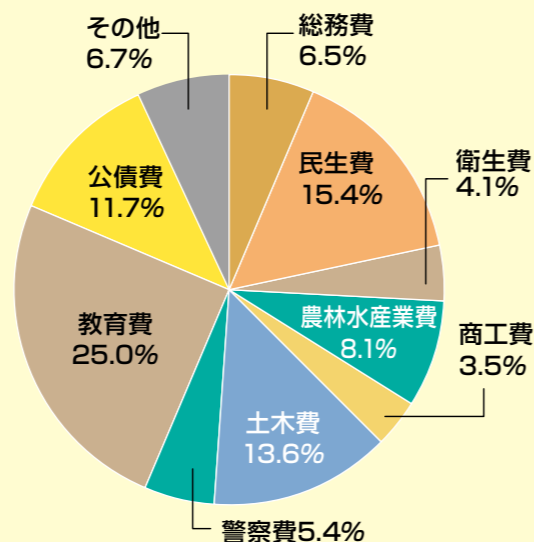
県民1人あたりに換算すると…

入ってくるお金(歳入)
435,900円

自主財源・・・122,900円
依存財源・・・313,000円

出ていくお金(歳出)
435,900円

総務費	28,300円
民生費	67,000円
衛生費	17,800円
農林水産業費	35,100円
商工費	15,500円
土木費	59,200円
警察費	23,800円
教育費	109,100円
公債費	51,000円
その他	29,100円



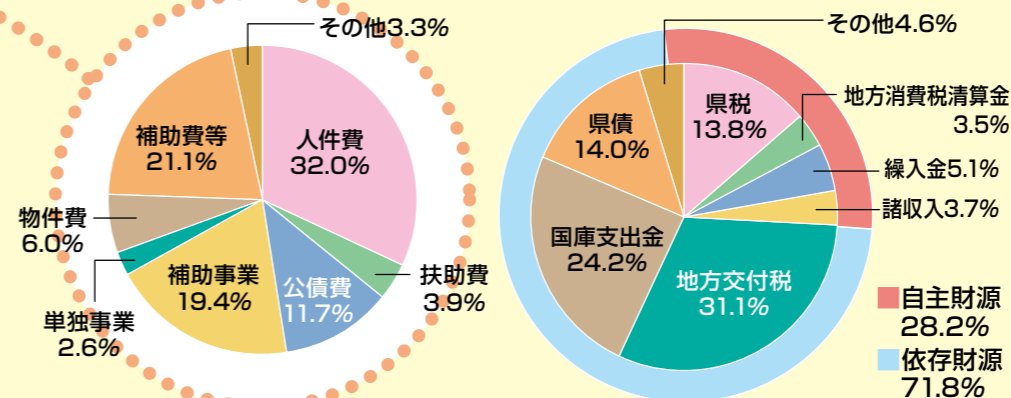
総務費	393億円
民生費	931億円
衛生費	247億円
農林水産業費	488億円
商工費	215億円
土木費	823億円
警察費	330億円
教育費	1,516億円
公債費	708億円
その他	404億円

歳出予算を別の視点で見ると…

※民生費とは、県民の生活や福祉のために使われる費用のことです。
※県民の人口は1,389,213人(平成22年2月1日現在)で換算しました。

一般会計当初予算額

6,055億円(対前年度比2.2%、129億円増)



歳出(県の支出)

義務的経費	人件費	1,937億円
	扶助費	237億円
	公債費	707億円
投資的経費	補助事業	1,175億円
	単独事業	158億円
その他の経費	物件費	364億円
	補助費等	1,280億円
	その他	197億円

歳入(県の収入)

県税	839億円
地方消費税清算金	210億円
繰入金	306億円
諸収入	223億円
地方交付税	1,885億円
国庫支出金	1,464億円
県債	846億円
その他	282億円

用語解説

- 【自主財源】**：県が自主的に徴収または収納することができる財源のことで「県税」、「使用料および手数料」、「諸収入」などのことです。
- 【依存財源】**：国から定められた額を交付されたり、割り当てられたりした財源で「地方交付税」、「国庫支出金」、「県債」などのことです。
- 【県 税】**：直接税として県民税、事業税、不動産取得税、自動車税などがあり、間接税として地方消費税、県たばこ税などがあります。
- 【地方交付税】**：すべての地方公共団体が一定水準の行政を維持するために必要な額を保障するもので、財源不足が生じる地方公共団体に国から交付されます。
- 【国庫支出金】**：地方公共団体が行政を執行する上で必要な財源に充てるため、国から負担金、補助金、交付金などの名称で交付されるものです。
- 【県 債】**：県が特定支出に充てるため、一会計年度を超えて借り入れる長期借入金のことです。また、償還に要する経費を公債費といいます。

- 補助金等の見直し(△6億円) 約百四十七件の県単補助金を見直し、廃止や縮小を実施しました。
- 経費節減など(△10%) 事務経費(運営費、施設管理費等)のさらなる節減や合理化に取り組みしています。

収入不足への対応
行財政改革の推進による歳入確保や経費の節減、さらに

給与の特例減額措置等の対策を執行しても、なお、百四十一億円の大幅な収入不足が生じています(前年度は二百六十九億円の不足でした)。

このため、主要四基金等からの取り崩し(五十七億円)や退職手当債等の県債の増発(八十四億円)により、収入不足に対応しています。

※主要四基金とは、財政調整基金、減債基金、県有施設整備基金、職員退職手当基金のことをいいます。

予算編成の方針

今年度は、沖縄振興計画の残り期間があと二年となり、総仕上げの時期を迎えることから、これまでの成果を踏まえ、残された課題への対応と更なる発展に向けた取り組みを力強く推進していく必要があります。

特に、「産業振興」、「雇用創出」、「福祉医療の拡充」および「離島振興」等の推進は、県の重要課題として全力を挙げて取り組んでいくことが必要です。また、現下の厳しい社会経済情勢を踏まえ、景気・雇用対策などにも適切に対応する必要があります。

増減のポイント

- 【増加】 介護職員処遇改善基金事業、全国高校総体準備・開催事業などの補助費等が増加しました。(百一億円)
 - 安心子ども基金事業などの単独事業が増加しました。(六十二億円)
 - 緊急雇用創出事業などの物件費が増加しました。(五十億円)
- 【減少】 一時的に元金償還金が減ったため、公債費が減少しました。(△六十四億円)
 - 農業基盤整備などの補助事業が減少しました。(△五十四億円)
- 行財政改革への取り組み**
- 人件費の削減(△九億円) 定数削減などにより人件費を削減しています。

今年度の一般会計の当初予算額は、六千五百億円で、前年度と比べて百二十九億円、二・二%の増加となり、平成十六年度以来、六年ぶりの六千億円台の予算となりました。

お問い合わせ 県財政課 TEL:098-866-2095 FAX:098-866-2658

働く夢、広げよう！ 働きたい職場で働ける 沖縄県をめざして

世界的な景気の落ち込みを受けて、国として私達が住む沖縄県の経済や雇用情勢は依然として厳しい状況が続いています。「働きたい職場で働ける沖縄県をめざして」厳しい現状を打開するため、沖縄県ではさまざまな取り組みが行われています。みんなが一つになつて雇用情勢を改善し、「働く夢が広がる沖縄県」にしてみよう。



1 全国的に厳しい雇用情勢の中、踏ん張る沖縄県

完全失業率とは、働きたくても働くことができない人の割合のことをいいます。全国と沖縄県の完全失業率の推移(図1)を見ると、全国では景気後退の影響を受け、平成二十一年の完全失業率は前年と比べ二ポイント上昇しており、雇用情勢の悪化が顕著にあらわれています。このような状況の中、沖縄県は前年と比べて二ポイントの上昇とはほぼ横ばいで推移しています。

注目すべきは就業者数の推移(図2)から分かるように、就業者数は全国では減少しているのに対して、沖縄県では二年連続で増加しています。一方では、非正規雇用の増大や依然として縮まらない全国との所得格差など、解決すべき課題を抱えている現状もあります。

2 働きたい職場で働ける沖縄県をめざして！

沖縄県では、働く場を増やすため、さまざまな取り組みを実施しています。今回は、その中でも沖縄県が実施している主な三つの取り組みをご紹介します。

1 緊急雇用対策としての基金事業

沖縄県では緊急的な雇用対策として、平成二十一年から平成二十三年までの三年間で、約百六十三億円(平成二十一年度末時点の基金を活用した事業を実施しています)。



緊急雇用で畑地の再生に取り組む

求職者を対象におおむね六月から二年間の短期的な働く場を提供する事業、継続的な雇用につなげるための事業、働きながら人材育成を行う事業などがあり、これらの事業をとおして沖縄県全体で約八千二百人の雇用創出を図ります。

平成二十二年二月末現在、これらの事業によつて約二千五百人の新たな雇用を生み出しています。

2 職業訓練



訓練の様子を視察する知事(具志川職業能力開発校)

沖縄県では、職業訓練機関として具志川職業能力開発校、浦添職業能力開発校の二校を設置しており、訓練終了後の就職をめざして、さまざまな職業訓練を実施しています。訓練科目は職業能力開発校内で行うOA事務科や自動車整備科、造園科などのほか、専門学校等への委託による観光サービス科や観光ビジネス科などの職業訓練も実施しています。また、(財)雇用能力開発機構(ホリテクセン)や沖繩でもビル設備サービス科などの職業訓練を実施しています。

3 企業を応援します！ 各種助成金

国や沖縄県および各関係機関では、新規雇用や教育訓練・人材育成を実施する企業に対してさまざまな助成金を取り揃えています。

その数なんと四十種類以上、沖縄県ではこれらの助成金の情報のほか、国や県、市町村が実施しているさまざまな雇用支援に関する情報を力所の窓口にてまとめて提供するワンストップ型の雇用相談窓口を設置します(設置場所、相談開始時期、連絡先等の情報については後述、沖縄県ホームページ等でお知らせいたします)。

雇用に関する助成金 さまざまなケースに対応した種類があります！

新規雇用 ● 特定対象者の雇い入れ ● 創業・新分野進出に伴う雇い入れ など	教育訓練・人材育成 ● 社員の教育訓練の実施 ● 失業者の職場訓練の受け入れ など
働きやすい職場環境作り ● 育児・介護との両立支援 ● 障がいのある社員のための設備設置 など	パート・派遣労働者の雇用管理の改善 ● 正社員への転換 ● 派遣先での直接雇い入れ など

3 若者は沖縄県の貴重な財産

沖縄県は特に若年者の雇用対策を強化しています。新規高卒者の就職内定率の推移をみると、近年は改善傾向にあります。これは、各学校における就職指導の強化のほか、就職活動を支援する沖縄県キャリアセンターや関係機関が実施している各種取り組みの成果のあらわれであり、就職内定率は全国水準に近づきつつあります。



知事が直接企業を訪問して、新規卒者の採用枠拡大を要請



新規卒者を対象とした就職面接会

しかし、平成二十一年は景気後退の影響を受け、新規卒者の採用を希望する企業側の求人数は大幅に減少。就職内定率は伸び悩み、落ち込みがみられました。これを受けて、沖縄県では、

知事や副知事が企業や経済団体を個別に訪問して新規卒者の採用の拡大を要請したほか、県外企業を招いて大規模な就職面接会を開催するなど、若年者の雇用対策に積極的に取り組んでいます。

みんなでグッジョブ運動

沖縄県ではこれらの雇用対策と併せて県外からの企業誘致にも積極的に取り組んでいます。平成十九年からは仲井真知事を先頭に、完全失業率を全国並に改善し、みんなが生きがいを持って働く自立した豊かな沖縄県の実現をめざして、「みんなでグッジョブ運動」を展開しています。県では引き続き、経済団体や労働団体、教育機関、PTAなど、関係機関と連携を図りながら、積極的に雇用情勢の改善に努めていきます。合い言葉は「みんなでグッジョブ!!」

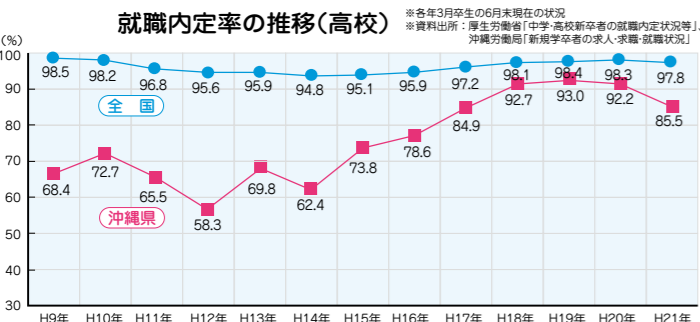
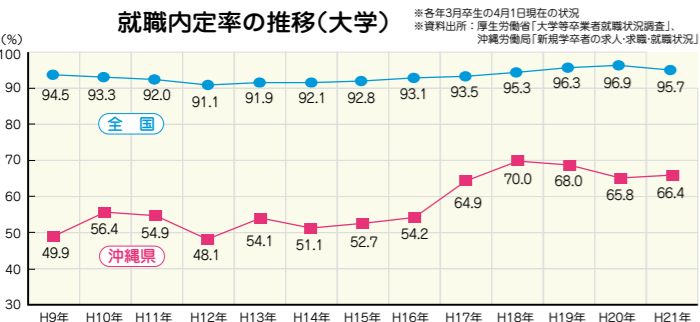
みんなでグッジョブ運動ホームページ
<http://www.goodjob-okinawa.info/>



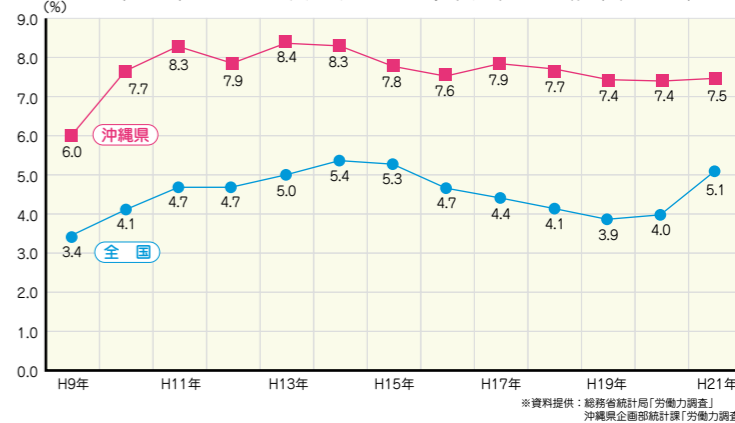
みんなでグッジョブ運動推進大会



働くってどんなこと「ジョブシャドウイング」



(図1) 全国と沖縄県の完全失業率の推移(年平均)



(図2) 就業者数の推移

年平均	H19	H20	H21
沖縄県	59万2千人	60万人	61万7千人
対前年増減		+8千人	+1万7千人
全国	6,412万人	6,385万人	6,282万人
対前年増減		▲27万人	▲103万人

※資料提供：総務省統計局「労働力調査」
沖縄県企画部統計課「労働力調査」

子どもと女性を 性犯罪等の被害から 守るために

子ども・女性安全対策係 JWATの活動状況

沖縄県警察は、子どもと女性を性犯罪等の被害から守るため、昨年四月一日、警察本部内に『子ども・女性安全対策係(※JWAT)』を設置し、子どもや女性を対象とする性犯罪の前兆とみられる声かけ、つきまとい等について捜査を行い、犯人(行為者)を特定して検挙または指導・警告を専門的に行っています。

今回は、子どもや女性を対象とする性犯罪等の県内での発生状況と、県警察における先制・予防的活動の内容について紹介します。

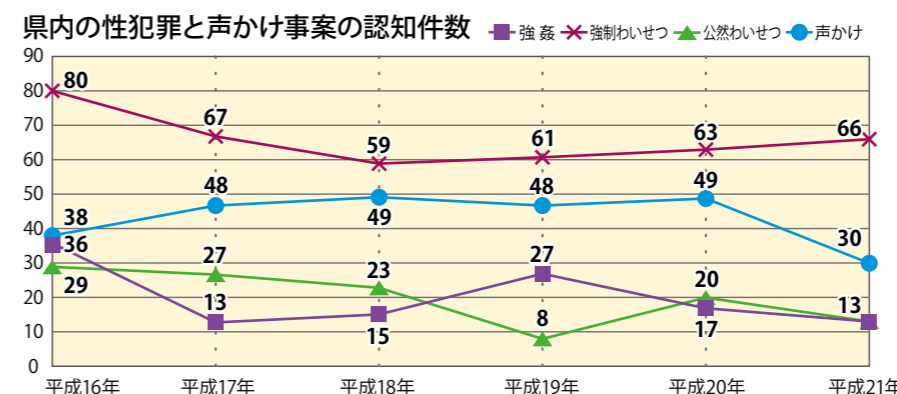


※JWAT(じえいわつと) : Juvenile and Woman Aegis Team
◎juvenile【意味】少年、少女、年少者 ◎Aegis【意味】保護、後援、後ろ盾

1 県内における性犯罪と 声かけ事案発生状況

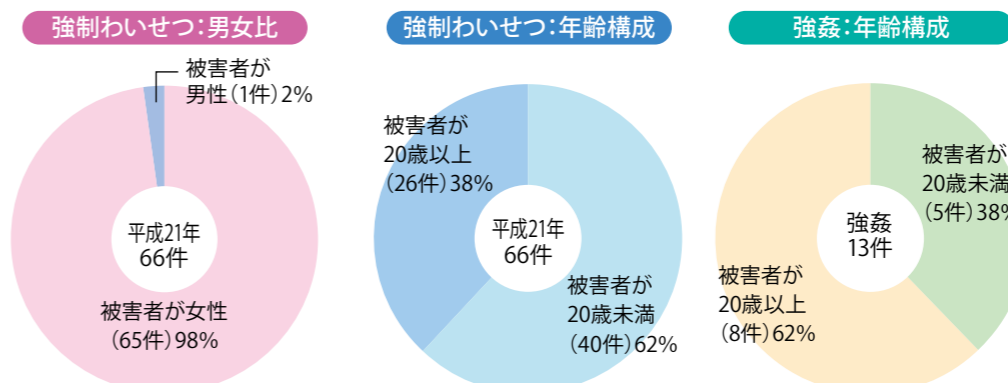
平成二十一年の子どもの性と女性に対する性犯罪の認知件数のうち、強姦事件は十三件(前年対比マイナス四件)、強制わいせつ事件は六十六件(前年対比プラス三件)、公然わいせつ事件は十三件(前年対比マイナス七件)でした。

また、性犯罪の前兆とみられる声かけ事案は三十件(前年対比マイナス十九件)でした。



2 強姦・強制わいせつ事件に おける子どもと女性の割合

強姦事件十三件のうち、被害者が二十歳未満の件数は五件(三十八%)でした。また、強制わいせつ事件六十六件のうち、被害者が二十歳未満の件数は四十四件(六十二%)で、被害者が女性の件数は六十五件(九十八%)でした。



3 先制・予防的活動の 重要性

子どもと女性に対する性犯罪は、被害者の平穏な日常生活を突如として破壊し、被害者の心身に重大な影響を与えるほか、地域住民にも著しい不安を与えるものです。この種の事件については、事件発生の前段階で、いわゆる声かけ、つきまとい、痴漢等の前兆事案が発生していることが少なくありません。

このような前兆事案が発生した場合は、犯人を検挙することも重要なことですが、法令違反に当たらない場合であっても、行為者を特定して指導・警告措置を行う先制・予防的活動により、性犯罪等を未然に防止することも重要です。



4 活動事例 (平成二十一年四月~平成二十二年二月)

JWATの設置から約一年、昨年四月一日から今年二月末までの検挙件数は十一件、指導・警告件数は三十二件でした。ここでは主な先制・予防的活動と検挙事例を紹介します。

[2] 検挙活動

- ア. 沖縄市内で女子中高生を狙った連続痴漢
【逮捕】5/28 被疑者の男(24歳)
- イ. 浦添市内での住居侵入・強制わいせつ
【逮捕】6/3 被疑者の男(23歳)
- ウ. 那覇市小椋で女児小学生に強制わいせつ
【逮捕】9/3 被疑者の男(45歳)
- エ. モノレール内で女子大生に痴漢
【逮捕】1/9 被疑者の男(41歳)
- オ. 沖縄市で女子高生を脅迫
【逮捕】2/15 被疑者の男(25歳)



[1] 先制・予防的活動(指導・警告事案)

- ア. 宜野湾市内のコンビニで女子高生を盗撮
【警告】4/27 行為者の男(38歳)
- イ. 沖縄市内で女子高生への声かけ
【警告】5/11 行為者の男(32歳)
- ウ. うるま市石川で男児小学生に声かけ
【警告】7/13 行為者の男(54歳)
- エ. 八重瀬町内で成人女性につきまとい
【警告】8/7 行為者の男(30歳)
- オ. 南風原町内で女子中高生に抱きつき
【警告】11/9 行為者の男(79歳)
- カ. 浦添市内で声かけ
【警告】12/15 行為者の男(54歳)



5 犯罪被害に遭わない ために

- 夜道の一人歩きは避けましょう。遠回りでも人通りの多い、明るい道を歩きましょう。
- 歩きながら携帯電話や音楽プレーヤーを操作しない。
- 防犯ブザーなどの防犯グッズを活用する。
- 家や車の「鍵掛け」を徹底する。

6 情報提供依頼のお願い

県警察では、子どもと女性を性犯罪等の被害から守るため、子どもと女性を対象とする性犯罪の前兆とみられる声かけ、痴漢、のぞき、つきまとい、盗撮、下着泥棒、公然わいせつ事案に関する情報提供を常に受け付けております。

情報提供は、お近くの警察署、交番駐在までお願いします。



メール会員募集 安心ゆいメール

あらかじめ登録されている県民のみならず、地域の安全に関する情報をタイムリーかつピンポイントに提供し、事件・事故の未然防止や自主的な防犯活動等に役立てていただくための情報を配信するサービスです。県警察では、子どもや女性に対する「声かけ」「つきまとい」などの不審者情報や、犯人の逮捕などの配信を行っています。

注意:登録は無料ですが、メール受信に伴う通信料は受信者の負担となります。
※バーコードリーダー付きの携帯電話は、右のQRコードからメールアドレスを読み取り、送信できます。

登録方法

- ① お手持ちの携帯電話・パソコンから、次のアドレスに空メールを送信してください。
- ② 返信メールに記載されたURLにアクセスしてください。
- ③ アクセス先に記載された登録手順に従って登録してください。

touroku@yui-ml.police.pref.okinawa.jp

ゆいメールイメージ(例示)

差出人: 安心ゆいメール
件名: 不審者情報

○月○日午後○時○ころ、○○市△△1丁目、下校中の小学生女子が、知らない男に「キャンディあげるからおいで。」と声をかけられる事案が発生しました。男は、40歳位で、白い車に乗っていたようです。

【防犯のポイント】
○甘い言葉にだまされない。
○イカのおすしを守ろう。

お問い合わせ 県警察本部安全なまちづくり推進課・子ども・女性安全対策係(JWAT) TEL:098-862-0110 FAX:098-861-8609

おきなわの いろ 彩鳥 どり

四季を告げる野鳥は沖縄の美しい自然そのもの。
希少な存在になってしまったものも少なくありません。
いつまでも守り続けたい生命の輝きがここに 있습니다。

全長31cm、
やんばるの森にのみ分布する沖縄県の県鳥です。
「キータタチャー」という方言名があります。
雄と幼鳥の頭部は赤く、
雌は黒褐色です（写真は雄です）。
4月から6月頃、
イタジイなど樹木の幹に
巣穴を掘って子育てをします。
昆虫類、クモ類、果実などいろいろな餌を幅広く、
樹上、地表、地中など
森のさまざまな場所で捕らえています。

やんばるの森に響くドラミング 「ノグチゲラ」



キツキ目キツキ科 *Sapheopipo noguchii*
レッドデータ沖縄「絶滅危惧ⅠA類」環境省レッドリスト「絶滅危惧ⅠA類」
国内希少野生動物種 国指定特別天然記念物

Photographer
小原 祐二・Obara Yuji

1968年鹿児島県生まれ。琉球大学生物学科卒業後、沖縄で環境調査に従事。
ウェブサイトおきなわカエル商會を運営、沖縄の自然を紹介している。
HP <http://www.okinawa-kaeru.net>



あなたも受けてみませんか?

平成22年度技術講習のご案内

- 労政・女性就業センターでは、仕事に就くために必要な資格を取得するための技術講習を行っています。
- 対象：就職を希望する女性で、講習の全日程に出席できる方(但し、現在仕事についている方、学生、新卒、妊婦の方は対象外)
 - 講習内容：介護事務、経理事務、調剤事務、医療事務、ワード・エクセル3級
 - 受講料：無料(但し、教材費・検定料などは自己負担)
 - ◆問合せ先
 県雇用労政課 労政・女性就業センター(那覇)
 ☎098-863-1788
 県雇用労政課 労政・女性就業センター(沖縄相談所)
 ☎098-934-6607

子育てママの就職支援講座

- 就職を希望するものの、就業やスキルアップの機会に恵まれない子育て中の女性等を対象に、コールセンター等への就職につなげるための研修を行います(受講料無料、託児所付き)。
- 平成22年5月から平成23年2月まで講座を5回開催予定。1回の講座で基礎的スキルを習得し、就職をめざします。
- 講座期間：平日の23日間
 - 講座内容：パソコン基礎、コミュニケーションスキル、ビジネスマナー、企業見学など
 - 会場：(財)雇用開発推進機構 エンバクト研修センター
 - 定員：20名
 - ◆問合せ先 (財)雇用開発推進機構
 ☎098-859-6140

雇用に関する助成金のご案内

国や県では雇用の安定を目的に、さまざまなケースに対応した助成金を用意しています。県雇用労政課のホームページに約40種類の助成金を一覧にして掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。

例)新規雇用や創業・異業種進出
 育児や介護との両立支援
 パートタイム社員の雇用安定 など

※それぞれ要件があります。下記HPより各助成金取扱機関をご確認のうえお問い合わせください。

沖縄県 助成金一覧

Q 仕事を辞めたくなくなったことは? **A** 仕事に慣れ始めた三年目に少し思いました。でも、就職活動中か

Q 張感が私の原動力になっています。一つひとつの素材を集めて「旅」が出来上がる工程が見られるのもうれしい。



Q 今後の目標は? 同じ道をめざす人へ経験の中からアドバイスを! **A** 今後は、中国からどれだけ観光客を誘致できるかがカギ。北京や上海にある事務所で、沖縄における訪日旅行の窓口として、いつか現地で

Q 職場の人間関係を円滑にする秘訣は? **A** 同期が多いので、お互いの活躍が刺激になります。既婚者や子持ちの社員もいるので、忙しそうなのは声をかけて助け合うことを心がけています。また、上司に仕事の悩みを相談しやすい環境で、とても働きやすい職場です。



Q 現在の仕事内容、業務は大きく分けて、航空チケット販売とそのチケットを **A** 働いてみたい。大学で学んだ中国語も生かしたいですね。仕事は終わりのない勉強で、止まったらそこで成長も終わり。旅行業界は幅広い知識や経験があると有利です。いろいろな場所を見て、旅行に限らず好奇心を持って何でも体験しておく視野も広がるはず!

上司からもヒトコト



常に冷静でお客さまの対応も丁寧。安心して業務を任せられる有望な人材です。

手仕舞チームに異動して約1年の辻は、同期の中でもしっかり者。お客さまのさまざまなニーズに丁寧かつ冷静に対応でき、安心感があります。旅行の仕事は、お客さまの視点で考えて柔軟に対応し、人を喜ばせるサービス精神が必要です。今後は沖縄のことをもっと学び、時代を先読みする力も身につけて欲しい。大いに期待しています。

ANAセールス沖縄株式会社 旅行企画部 沖縄仕入センターセンター長 茨田 清武さん

仕事現場ウォッチング

興味のあるシゴトはあるけれど、その実態がよくわからない。やりがいや本音、現場の空気をもっと知りたい! そんな思いに応えてさまざまなシゴトをレポート! ヒントはいつも現場にありました!

●今月のシゴト・ターゲット「旅行業界のシゴト」

ANAセールス沖縄株式会社 旅行企画部 沖縄仕入センター手仕舞チーム 辻 美由紀さん(26歳)

旅行業界のシゴトとは

旅の楽しさを安全に提供する仕事。お客さまへの心配りやサービス精神が大切です。



個人向けのパッケージツアーから団体旅行まで、さまざまな旅の楽しさを提供するものが仕事です。職種も多彩で、旅の企画を練って旅行商品化する企画グループ、旅行商品の宿泊や食事・観光の仕入・手配を行う仕入グループ、航空券や旅行商品の予約・発券を行う予約グループ、県内の旅行会社や企業に航空券や旅行商品をセールスする営業グループなどがあります。また、添乗員として旅行に同行することもあります。常にお客さまの視点に立って考えることが必要不可欠。人のために役立ちたい、誰かを喜ばせたいというホスピタリティの精神が大切です。また、国家資格「総合旅行業務取扱管理者」を持っていると有利です。

PROFILE 辻 美由紀さん



1983年具志頭村(現八重瀬町)出身。地元の小中学校を卒業後、向陽高校、琉球大学へ進学。法文学部国際言語文化学科東洋文化専攻過程で学び、2006年卒業。同年、ANAセールス沖縄株式会社入社。海外旅行の予約センターを経て、約1年前より現職。勤続4年目。



Q この仕事に就いたきっかけは? **A** 高校生の頃から「どうしたら沖縄が発展するか」を考えており、大学三年次の就職活動中にインターネットの就職情報サイトで現在の職場を見つけて応募。念願の沖縄に携わる仕事に就けました。

Q 現在の仕事内容、業務は大きく分けて、航空チケット販売とそのチケットを **A** 働いてみたい。大学で学んだ中国語も生かしたいですね。仕事は終わりのない勉強で、止まったらそこで成長も終わり。旅行業界は幅広い知識や経験があると有利です。いろいろな場所を見て、旅行に限らず好奇心を持って何でも体験しておく視野も広がるはず!

Q 現在の仕事内容、業務は大きく分けて、航空チケット販売とそのチケットを **A** 働いてみたい。大学で学んだ中国語も生かしたいですね。仕事は終わりのない勉強で、止まったらそこで成長も終わり。旅行業界は幅広い知識や経験があると有利です。いろいろな場所を見て、旅行に限らず好奇心を持って何でも体験しておく視野も広がるはず!

Q 現在の仕事内容、業務は大きく分けて、航空チケット販売とそのチケットを **A** 働いてみたい。大学で学んだ中国語も生かしたいですね。仕事は終わりのない勉強で、止まったらそこで成長も終わり。旅行業界は幅広い知識や経験があると有利です。いろいろな場所を見て、旅行に限らず好奇心を持って何でも体験しておく視野も広がるはず!

Q 仕事の苦労は? やりがいは? **A** 仕事の優先順位などで迅速な判断が求められる中、迷うことも多々あります。常にメモを取り、飛行機や船の時刻、料金など、「前回がそうだったから同じだろう」という憶測はせず、過信しないよう気をつけています。大変ですが、ANA、そして沖縄という看板を背負っているという緊

使った旅行商品の取り扱いの二つ。所属する手仕舞チームは、国内旅行で来県するお客さまの手配全般を行います。専用回線でご相談やお問い合わせを受けたり、滞在中のケアも行います。朝九時前に出勤し、すぐにホテルやレンタカー、オプションの手配などを始めます。手配は一日で四百件程度、電話の応対も約二百件あり、一日があつという間に過ぎます。台風時や商品発売の前には業務が繁忙になり、残業が増えますね。



おきなわ県政出前講座

平成二十二年度実施講座の紹介

講座の対象

おおむね二十人以上(二十人未満については個別調整可)の集会。ただし、次の場合は対象外とします。
○営利、宗教、政治活動を目的とするもの
○苦情陳情を目的とするもの

実施日時

平日午前10時～午後八時
土日午前10時～午後五時
※講座は、一時間半程度です。

費用

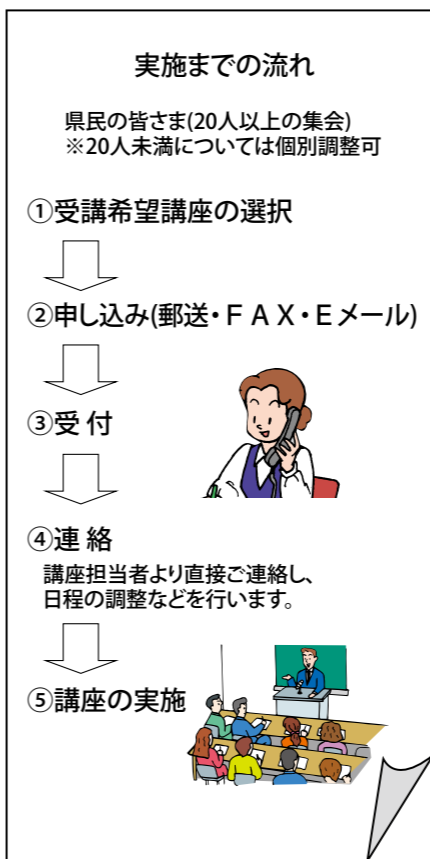
職員派遣費用はかかりません。

会場

申込者でご用意ください(会場使用料が必要な場合は、申込者でご負担ください)。

申込み方法

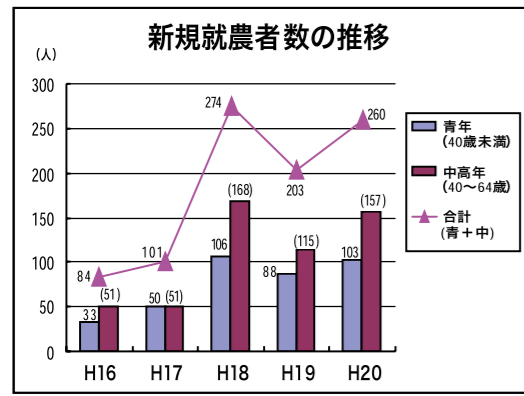
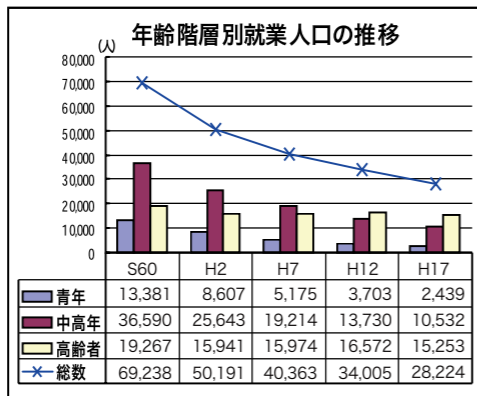
講座を希望する日の一カ月前までに「出前講座申込書」に必要事項を記入の上、県広報課あてに郵送・FAXまたは電子メールでお申し込みください。「出前講座申込書」は県広報課で配布します。県ホームページからもダウンロードできます。



新規就農者等の支援事業

本気で農業を始めたい方を応援します！

県では、農業を始めたい方に対する総合的な相談窓口の設置や農業技術等を支援する各種講座などを実施しています。興味のある方は是非お問い合わせください。



県内の新規就農者などの現状

農業就業人口の減少や高齢化が進む中、次代の農業を担う者を幅広く育成・確保していくために、県は新規就農者などに対する各種支援に取り組んでいます。
その結果、近年では、新規就農者数は増加傾向にあり、平成二十一年の新規就農者数は二百六十人で前年に比べ五十七人(二十八%)の増加となっています。そのうち青年(四十歳未満)は百三人で全体の約四割を占めています。

新規就農者などの育成・確保

県の担い手育成に対する平成二十二年の支援策は、就農前の者を対象にした「農でグジョブ推進事業」と就農後の者を対象にした「はるさー就農定着促進事業」を展開します。
「農でグジョブ推進事業」では、農業体験学習や就農希望者に対する就農相談、基礎的な農業知識を学ぶ就農サポート講座などを実施し、就農希望者を就農へと誘導します。「はるさー就農定着促進事業」では、将来の本県農業を担う青年農業者などに対して農業技術・経営などの指導を行い、早期の経営安定化による就農定着を図ります。

平成22年度実施講座一覧 (県HP <http://www.pref.okinawa.jp/kouhou/demae/mainpage.htm>)

県政全般	保健・医療・福祉	商工業・労働・雇用
1 沖縄県の行政改革～県民とともに将来世代に対する責任を果たすために～	25 「健康おきなわ21」の推進	48 沖縄の伝統工芸
2 本県の財政状況について	26 配偶者暴力(DV)の防止について	49 みんなでグジョブ運動について
3 県税について	27 障害者自立支援法について	50 知っておきたい労働基礎知識について
4 男女共同参画について	28 放課後子どもプラン及び子育て支援事業について	51 若者の就職問題について
5 沖縄平和賞について	29 児童虐待防止対策について	52 労働委員会における労使紛争処理の方法について
6 行政オンブズマン制度について	30 感染症予防等について	53 沖縄県中小企業支援計画について
7 沖縄振興計画について	31 自殺対策について	54 ホストファミリーバンク推進事業について
8 沖縄21世紀ビジョン(仮称)について	32 臓器移植について	55 かりゆしウェアの新たな展開について
9 道州制について		56 県融資制度について
10 安全なまちづくりについて	地域振興・まちづくり	観光振興
	33 地域再生等に関する意見交換会	57 沖縄観光の現状・課題及び施策展開について
	34 離島地域の現状について	58 エコツーリズム推進事業について
	35 沖縄県の都市計画について	59 観光人材育成センターについて
	36 沖縄県生活基本計画(誰もが安心して心地よく暮らせる美ら島「沖縄」)について	60 沖縄県のカジノ・エンターテインメントの検討状況の報告について
	37 沖縄県の下水道について	科学技術振興
	38 ゆいレールについて	61 沖縄科学技術大学院大学構想の進捗状況について
	39 沖縄県の景観施策について	IT活用
	文化振興・国際交流	62 電子申請について
11 県の文化振興について		63 沖縄県地図情報システムについて
県民生活・市民活動		米軍基地関連
12 消費生活の安定と向上について		64 沖縄の米軍基地について
13 NPO活動について		65 日米地位協定の抜本的見直しについて
14 飲酒運転の根絶対策について		66 駐留軍用地跡地利用の推進について
環境・自然		消防防災
15 世界自然遺産について		67 防災対策について
16 ちゅら島環境美化について		68 国民保護法制について
17 沖縄の自然について		
18 沖縄の自然公園について		
19 沖縄の貴重な動植物について		
20 赤土等流出防止対策について		
21 浄化槽について		
22 傷病野生鳥獣救護について		
23 動物愛護と適正な飼養について		
24 マングース対策事業について		
	農林水産業	
	40 海の利用について	
	41 漁業権について	
	42 沖縄の畜産業について	
	43 就農サポートについて	
	44 農地・農振制度について	
	45 森林の多面的機能について	
	46 全島緑化事業について	
	47 JAS法食品表示について	



新規就農者の相談状況

農業を始めたい方への相談窓口
新たに農業を始めたい方の総合窓口として「沖縄県新規就農相談センター」を設置しています。新規就農者にとって重要な農業技術の習得や資金の確保、農地の確保など総合的な相談に対応します。農業に興味のある方は是非一度お問い合わせください。

沖縄県新規就農相談センター
(沖縄県農業会議内)
☎〇九八・八八九・六〇二七
受付 午前八時半～午後五時
(土日・祝日を除く)

就農サポート講座

本講座は、就農を予定している他産業従事者やUターン青年等が、農業に関する基礎的な知識および技術を習得できる農業講座です。主な内容は、座学による農業入門知識の学習、農業体験による基礎実習、農業法人等での実践研修の三コースを各五日間実施するものです。関心のある方は県営農支援課までお問い合わせください。



平成21年度就農サポート講座の様子

平成22年度 就農サポート講座の受講生募集!

- 募集期間: 4月1日(木)～30日(金)必着
- 募集定員: 35人(野菜・花き・果樹コース各10人、肉用牛コース5人)
- 研修場所: 県立農業大学校(名護市大北1-15-9)
- 研修期間: 5月下旬～11月
(第1回研修 5月下旬～9月、第2回研修 8月上旬～11月)

【応募資格】
県内で就農を予定する者
設定された日程に出席できる者
年齢おおむね60歳未満の県内在住者

お問い合わせ ●県営農支援課 TEL.098-866-2280 FAX.098-866-2309

お問い合わせ ●県広報課 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467



情報ひろば

2010年4月

4月 APRIL

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

5月 MAY

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

イベント

科学技術週間関連イベント

●期間 4月12日(月)～16日(金)
●場所 県庁1階県民ホール
●内容 県立試験研究機関の研究トピックや科学技術分野受賞実績などのパネル展
●問合せ 県科学技術振興課
☎098-8666-2590

試験

●平成23年度教員候補者選考試験
●第一次試験日 7月18日(日)・19日(月)
●試験会場 那覇高校、小禄高校その他4会場
●受験年齢 昭和50年4月2日以降に生まれた者等
●受験資格 教員免許状を有する者または平成23年3月末日までに取得見込みの者
●願書交付 4月21日(水)～5月12日(水)
●願書受付 5月6日(木)～12日(水)
●問合せ 県教育庁義務教育課
☎098-8666-2741

募集

技術講習・介護事務

●対象者 おおむね40歳までのパソコン操作が可能な就職を希望する女性
●講習期間 4月21日～5月14日(月・水・金)午前9時～午後3時
●場所 ちやたんニライセンター
●申込み 4月12日、13日来所申込み
●選考 4月15日(筆記試験・面接)
●定員 20名
●受講料 無料 ※教材費・検定料等15,600円自己負担
●問合せ 県労政・女性就業センター
☎098-8663-1788

平成22年度前期技能検定

●技能検定は、職業能力開発促進法に基づく国家検定です。合格者には厚生労働大臣または県知事から合格証書が交付され、「技能士」の称号が与えられます。
●実施職種 造園、写真、産業洗浄などの30職種
●受付期間 4月5日(月)～16日(金)
●問合せ 沖縄県職業能力開発協会
☎098-8662-4278

お知らせ

施設名称の変更

●県内にある青年の家・少年自然の家は、4月1日から名称が「青少年の家」に変わります。
●なお、県の施設としての役割や利用方法などは原則としてこれまでと変わりません。詳細は県教育委員会HPをご覧ください。
●問合せ 県教育庁生涯学習振興課
☎098-8666-2746

パスポート窓口が一部市町村へ移ります!

●4月1日からパスポートの申請・受け取りについて、次の16市町村にお住まいの方は、県旅券センターから市町村役場窓口に移行します。
●新窓口 宮古島市・恩納村・宜野座

事業計画募集

●県では、県内中小企業者などが行う新製品開発事業などを支援するため、「戦略的県産品開発支援事業費補助金」の事業計画を募集します。
●対象者 県内の中小企業者・個人企業を含むおよび中小企業団体
●対象分野 ①工芸品 ②化粧品 ③観光土産品 ④環境関連製品 ⑤健康サービス産業製品 ⑥ファッション製品
●対象事業 (1)デザイン高度化事業 (2)一般的製品開発事業
●受付期間 4月12日(月)～30日(金)
●問合せ 県商工振興課
☎098-8666-2367

平成22年度奨学生募集

●【高校生など】
●応募資格 ①、②の条件を満たす者
①沖縄県内に住所を有する者の子弟
②高校、専修学校高等課程などの生徒
●申込み 在学している学校
●募集期間 在学している学校が定めた期間(4月中旬頃まで)
●【大学、専修学校など】
●応募資格 ①沖縄県内に住所を有する者の子弟で、国内の大学、大学院、高等専門学校もしくは専修学校(専門課程)に在学している者または平成22年4月入学予定の者
②沖縄県出身海外移住者の子弟で、主たる住所を海外に有し、県内の大学もしくは大学院に在学している者または平成22年4月入学予定の者
●応募締切 4月15日(木)
●問合せ (財)沖縄県国際交流人材育成財団
☎098-942-9213

春の全国交通安全運動

●4月6日から15日までの10日間、「目でかくにん音でかくにん」でもたかくをスローガンに、全国一斉に春の全国交通安全運動を実施します。交通事故のない安全で安心な社会の実現のため、県民の皆さまにはより一層の交通ルールとマナーの遵守に努めるようお願いいたします。
●問合せ 県民生活課
☎098-8666-2187



各施設行事予定表

県立博物館・美術館

☆休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)
☎098-941-8200

◆いわさきちひろ展
●期間:4月3日(土)～5月9日(日)
●入場料:一般800円、高校生・大学生500円、小・中学生300円
※いわさきちひろ作品へのメッセージを募集しています。抽選で招待券を贈呈します。

◆石川直樹写真展
●期間:4月13日(火)～5月9日(日)
●入場料:大人500円、高校生・大学生300円、小・中学生100円

◆博物館文化講座「港川人を訪ねて3」
●日時:4月24日(土)午後1時～5時
●見学地:八重瀬町立具志頭歴史民俗資料館、港川フィッシャー遺跡、ガンガラーの谷
●定員:40名(抽選)
●参加費:1,500円(バス代・保険料込)予定
●申込み:4月7日(水)まで

◆儀間比呂志展
●期間:4月24日(土)～9月5日(日)
●入場料:大人300円、高校生・大学生200円、小・中学生100円
※70歳以上と県内小中学生は無料

沖縄県公文書館

☆休館日:毎週月曜日、祝日(日曜日が祝日の場合は、翌平日)
☎098-888-3875

◆常設展「深く掘れ、己の胸中の泉」
●特別企画「海の沖縄戦展」
●期間 平成22年6月27日(日)まで
●※入場料は無料です。

県広報課からのお知らせ



4月 放送予定

- 10日・11日 「やっぱりいいね沖縄」 沖縄県の観光振興について
- 17日・18日 沖縄離島共同市場「島人ぬ宝ブラザ」について
- 24日・25日 認知症サポーター養成講座について

テレビ放送時間 RBC 6:15 QAB 25:55 OTV 6:45
詳しくは沖縄県ホームページへ <http://www.pref.okinawa.jp/> トップページ▶広報・広聴について▶広報誌、テレビ番組等
県広報課 〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 TEL.098-866-2020 FAX.098-866-2467 kouhou@pref.okinawa.lg.jp

ラジオ県民室

お昼のひととき、県が実施する行事や募集のお知らせなどを行っています。
放送時間/毎週月曜日～金曜日
ラジオ沖縄 (864kHz) 11:50～11:55
RBCラジオ (738kHz) 11:55～12:00
F M 沖縄 (87.3MHz) 12:55～13:00
●ご意見・ご提言 募集
●県政に対するご意見・ご提言をEメール、FAX、手紙などで募集しています。
●あて先 県民ご意見箱、知事へのたより
●※記入様式等は、ホームページをご覧ください。



第3回アナウンサー研修会
4月1日(木) 大会開催まで、あと118日です
大会公式HPはこちら <http://www-ih2010.jp>

「美ら島沖縄総体2010」通信 ⑫
「美ら島沖縄総体2010」総会開会式で式典などのアナウンサーを務める高校生たちの研修会が二月二十七日に真和志高校で行われました。
研修会は今回で三回目。研修の内容も前回までの基本的なアナウンサー技術のチェックを中心とした指導から、総合開会式の台本を使い本番をイメージした研修へとステップアップしています。
NHK沖縄放送局アナウンサーの飯田紀久夫氏から指導をうけ、生徒たちは、発声の強弱や正確に内容を伝えるための文中で区切る位置などを真剣な表情で練習しました。また、全員でそれぞれのアナウンサーを聞きとり、課題を確認しました。
また、研修会では、式典放送アナウンサー紹介の企画についても話し合われ、高校生たちはアナウンサー練習と違い和気あいあいと意見を交換しました。
県内の八つの高校から集まった生徒たちですが、チームワークが良く、笑顔でさわやかなアナウンサーを目指して研修に励んでいます。



”ぬちぐすいの森”を守りながら生かす。
”くにがみ・環境保全型ツーリズム”

亜熱帯の生命が息づく
やんばるの森をブランドに

沖繩本島最北端に位置する国頭村。村土の八十四%を占める森林「やんばるの森」には、本島最高峰の与那覇岳がそびえ、天然記念物のヤンバルクイナやノグチゲラなどの希少動物が生息しています。現在「やんばるの森」を守り活かす連絡協議会（CCY）を中心に、「やんばるの森」を活用した地域ブランドづくりが進められています。

「東村はパイナップル、大宜味村にはシークワーサーと、それぞれ地域の特産品があります。国頭村には何があるかと考えたとき、やんばるの豊かな森を思い浮かべます。それを丸ごとブランド化しようと思いましたが」と話すのは、国頭村企画商工観光課主任の前田浩也さん。同僚の平良政幸さんも、「現在の沖繩県のリゾート観光路線に、国頭村がこれから参入するのは難しい。それなら逆に田舎を売りに、手つかずの自然を全面に打ち出して行こうと決めました」とプロジェクトの経緯を話します。自然をどのように守り活かすか、住民自らで考えて行うこと



国頭村役場企画商工観光課・前田浩也主任(右)と平良政幸主任(左)

を趣旨に、平成十九年にCCYを設立。構成メンバーは役場や商工会、農協、漁協、森林組合、野生生物保護センター、ヤンバルクイナの保護や国頭型ツーリズムに携わるNPO法人など。それぞれ協働・連携しながら、持続可能な環境保全型の観光を推進しています。

県内初の
森林セラピー基地認定

国頭村は、平成十九年三月に県内初の「森林セラピー基地」(森が持つ癒しの効果が科学的に認められた地域)に



国頭村出身ツアーガイドの案内で「ぬちぐすいの森」の自然に触れる(右)人(妖怪)と生き物たちが住むところ?「鬼太郎ツリーハウス」(左)



「森林セラピー基地」認定証



高い場所の植物も間近で観察できる「キャノピーデラス」(上)、小動物が生息する「アタビーポイント」(下)

特産品・自然・スポーツ施設を活用した国頭ブランド確立へ

商工会では、タンカンなど地元の特産品を使ったスイーツ「クニガミドーナツ」を役場や地元の特産品業者と共同で開発中。CCY会長・村商工会相談所長の平良政幸さんは、「各団体の思いがひとつになり、国頭村に対する想い

城哲也さん。「森を守りながら、地域の色、国頭村の匂いにするツアーづくりを心がけてきた」と話すCCY副会長・国頭ツーリズム協会代表理事を務める山川安雄さん。
地域の人材を活用したツアーガイドの育成、老人会など地元での森林セラピーにも力を入れていきます。また、来年四月にはやんばるの学びの森内に車いすの方や視覚障がい者、子どもにもやさしいユニバーサルデザインの散策路も完成する予定です。



タンカンなど地元の特産品を使ったスイーツを開発中

が強くなっている」とうれしそう。また、国頭村猪豚生産組合を支援し、猪と豚を掛け合わせたイノブタをブランド化して「国頭美紅」として発売。組合長の宮里栄さんは「普通の豚より約二倍の肥育期間がかかるけれど、その分、脂がのってとてもおいしい。今後は村の特産品として、ハムなどの加



脂の甘みが特長のイノブタを道の駅「ゆいゆい国頭」で販売



国頭村PRのために作ったTシャツとステッカー
国頭村役場 企画商工観光課
☎0980-41-2101
URL <http://www.vill.kunigami.okinawa.jp/>

「国頭村に学ぶ!」
元氣プロジェクトの開発ヒント
地域に眠っている宝を掘り起こす
モノではなく
・チャンスを持つのではなく
・仕掛ける」という攻めの姿勢

編集後記

広報誌担当となってからあという間に2年が経ちました。締め切り前の校正のピリリとした緊張感、校了後の達成感など、これまでの2年間、試行錯誤しながらやってきたいろいろ思い出が走馬燈のように頭の中を駆け巡っています(いや、それ少し違うから)。次号より新体制に変わりますが、今後とも「美ら島沖繩」をご愛読くださるようよろしくお願いいたします! (tako)

虫歯治療が終わったのを契機に、前から気になっていた電動歯ブラシを購入しました。最近の電動歯ブラシは音波で歯垢を除去するハイテク家電。実際に使ってみると、大きな音の割にはソフトなブラッシングで、歯磨き後のつるつるした歯にはびっくりです。この調子で8020めざして頑張ろうと思う今日この頃です。(momo)



アンケート
「美ら島沖繩」のご感想をお聞かせください。
パソコンはこちら
<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>

沖繩県広報誌
平成22年4月1日発行第34巻4号通巻415号
美ら島沖繩

企画・編集・発行 沖繩県知事公室広報課
〒900-8570 沖繩県那覇市泉崎1-2-2
TEL:098-866-2020
●表紙 写真・島袋常貴 / 県内初の「森林セラピー基地」に認定(国頭村)